

公 示

2006年2月22日
日本原子力研究開発機構労働組合中央選挙管理委員会
委員長 梶本 与一

臨時大会に向けて一斉分会開催中

第 90 回臨時大会

日時：3月8日(水) 13:00

場所：真崎コミュニティーセンター会議室

分会長さんは分会開催日程を早めに決めて組合事務所あるいは最寄の執行委員へお知らせください。分会では大会代議員の選出もお願いします。

本日、拡大窓口交渉(2月23日)

人事制度に関する拡大窓口交渉が2月23日の午後本部で行なわれます。

何を提案してくるのでしょうか？ 統合の本給に関する交渉も極めて遅れています。機構はまじめに交渉しなければなりません。

米軍機 F15 来るな 2月25日県民集会

日時：2月25日(土)午後2時から5時

場所：小川町文化センター

主催：米軍機 F15 来るな実行委員会

昨年10月末の在日米軍再編に関する中間報告で、航空自衛隊百里基地に沖縄の嘉手納基地から米軍の F15 戦闘機が移転する計画が発表されました。小川町長・議会、銚田市長、行方市長、大洗町長などが反対を表明しています。騒音もさることながら、米軍の F15 は墜落の多い飛行機であり、近隣の大洗の原子力施設へ墜落・原子力事故の危険も懸念されます。また米軍機が海外へ百里基地から出撃し、戦争に巻き込まれる恐れもあります。

関心のある方は参加してください。

参加のためのマイクロバスがでます。(バス代は往復1500円です。)

11時00分：常陸太田市パルティールホール駐車場 発

11時30分：東海村文化センター南側駐車場 発

第90回臨時大会代議員数について

日本原子力研究開発機構労働組合同規約第49条、並びに同選挙規則第12条及び第13条に基づき、大会代議員定数を下表の通り決定したので公示します。大会において十分な討議を行うため、別に執行委員会より配布された大会議案に基づき、分会の意見を集約し、大会代議員の選出を行うよう要請します。

連合分会・支部	分会	有権者数	代議員数
保物・バックエンド	バックエンド	7	1
	環境・線管・研究室	9	1
	施設放管第1・2	10	1
技術部	工務技術室・保全課	15	2
研究炉部	研究炉技術	5	1
	研究炉利用	8	1
	JRR-2管理課	5	1
	JRR-3管理課	6	1
原工・燃料・核融合・先端基礎・中性子科学・RI	JRR-4管理課	12	1
	FCA・炉物理	4	1
	核物理	12	1
	化学部	10	1
	先端基礎	13	1
安全セ・ホット試験	核融合	5	1
	中性子科学	4	1
	RI	8	1
	安工・安試	6	1
管理部	燃安構造事務・ホット試験・NSRR・燃料プロセス	16	2
	臨界・NUCEF	6	1
高崎支部	技術情報・東海管理部	5	1
	関西研・東京・柏・むつ	9	1
大洗支部	高崎地区	24	2
	原子炉第1・計画課・プランケット開発課	29	3
	原子炉第2・検査技術・ホットラボ	14	1
	照射第1・2	13	1
	工務・庶務・廃棄物処理	6	1
	保安管理・放射線管理	10	1
那珂支部	HTTR開発・新型燃料研究・核熱利用研究	22	2
	加熱第1	11	1
	JT60第1・臨界プラズマ・管理部	16	2
	合 計	320	37

これはおかしいぞ、成果**非公開**の研究課題募集：

日本原子力研究開発機構労働組合 花島 進

統合独立行政法人化され、原子力機構も他の政府関係研究機関の多くの例に漏れず、産学連携の推進が強く謳われています。機構のホームページには、すでに締め切られましたが、「平成 18 年度上期の施設共用課題の募集」が掲載されています。募集には[成果公開の研究課題]と[成果非公開の研究課題]の 2 区分があります。どちらにも利用料金が課せられますが、「非公開」の課題には、「公開」の課題よりも利用料金が高くなります。しかし、「非公開」の課題では、課題審査が免除され、施設の部門による実験の実施可能性と安全性のみが審査されるとしています。私は、この「非公開の共用課題」には問題があります。

「非公開の研究課題」募集で感じる第 1 の違和感は、原子力の公開の原則はどこへ行ったのかということです。言うまでも無く、原子力についてわが国はもっぱら平和利用のみを行うことを決めており、その担保として、「自主、民主、公開」の平和利用三原則を掲げているはずで、中でも公開の原則はその要でしょう。なのに、原子力基本法のもとにある機構が、公開を義務付けず、課題の審査も行わないテーマを、無限定に募集してよいのでしょうか。違法行為ではないのでしょうか。一体誰がこんな募集要項を決めたのでしょうか。これではこっそり軍事研究をされても分かりません。仮に利用者の一定期間の成果の占有を認めるにしても、機構が原子力基本法の平和利用 3 原則の制約のもとにある機関であり、その制約のもとでしか施設の利用を供せないことを明記しなければならないと考えます。

第 2 の違和感は、非公開課題の利用料金の設定です。募集要項と共に料金表が掲載されています。機構の施設には多大な公的な資金が投入されています。成果が公開されれば、その多くは広く世の中に還元されたと見れますが、非公開で、その成果をごく一部の者しか享受できない施設の利用であれば、かかった費用、今後かかる費用を全て料金に組み込むべきでしょう。料金表の金額は安すぎるのではないのでしょうか。違いますか？

第 3 に誰がその研究を手助けするのでしょうか。成果が求められている研究所が、成果にならないことをやっても良いのでしょうか。また、そうした業務を行なったとき、研究者は本当に評価されるのでしょうか？「ただ働き」で「ご苦労様」では研究者は浮かばれません。それとも、非公開課題協力 X 件とかの客観的数字で評価されるのでしょうか。寂しいですね。

第 4 に機密保持に関して誰が責任を負うのでしょうか。どこかで機密漏えいがあったとき、ただ働きをさせられた一個人の研究者が、追及され、責任を負わされてはたまりません。

「行政改革」や公的機関の縮小が進められ、また原子力の未来も昔のように明るい部分は薄くなっています。産学連携も良いかもしれませんが、わが国の原子力の原点を忘れると、本当に先が無くなるように思います。

2006年春闘アンケート結果 その5

Q . 労組の取り組み全般について、要望、意見等がありましたら記入して下さい。

- ・ 元原研職員の地位確保のために運動を続けてほしい。
- ・ よろしく願います。ピラ等は電子メールにして、掲示板にある程度張ることにすれば経費と作業が減るのでは？新組織になったので分会を組織しなおしてほしい。
- ・ 広く組合員に情報を提供してもらいたい。
- ・ 放業手問題にはみんな迷惑している。人事部長と労務課長の 2 人を守るために全体の 60% ~ 70% の人が被害を受けているのではないか？もっと大々的にピラでやるべきだ。現場の事務系もかなり怒っている。どこに落とし所をもっていくのか。ドロ沼となっている感じがする。
- ・ 研究手当が 4 月よりなくなるので、4 月からは、仕事も平等にしてもらいたい（難しい設計等も平等に）、難しい仕事も平等に振り分けてもらい、余った時間で資格を取得していきたい。
- ・ 組織人員が少なくなる中、存在意義を出し頑張っている活動に敬意を表します。
- ・ 今後の活動において「ユニオン」との違いが明確になるでしょう生活を守るたたかいを維持していきましょう！
- ・ 今の状況が見えていない。「日本経済新聞」を購読して、今の日本経済の実際を勉強することをお勧めします。とってよい新聞です。核燃サイクルの問題点（コストなど）について指摘したのは日経が最初だったと思います。（関係ないことですが、アップルの iTunes Music Store の日本での開始について報道したのは日経でした。アップルは否定も肯定もありませんでしたが、日経の報道どおりに開始されました。経済についての情報収集能力はダントツです。）組合というのは「経済」を主に扱うのではないですか？いつまでも古い思想で運営していたのでは、新しい組合員も入ってきません。
- ・ 原研労は少人数となっていますが、なくせない組織と思います。働きすぎないように頑張ってください。
- ・ ご苦労様です。
- ・ 活動を労働関係に絞り、政治方面に余り関与しない方が非組合員にも受け入れられやすいと思う。（結果的に組織率が上がる）
- ・ わけのわからない地域交流は、きちんとした考えをもって行動するよう心がけてほしい。
- ・ 機構への統合後、何かと旧サイクル色への移行が目立つ 旧原研組合の一貫した姿勢を今後も通して、ダメなものダメ、良いものは良いと、もの言える組織であってほしい。